

第1部 世帯と世帯員の状況

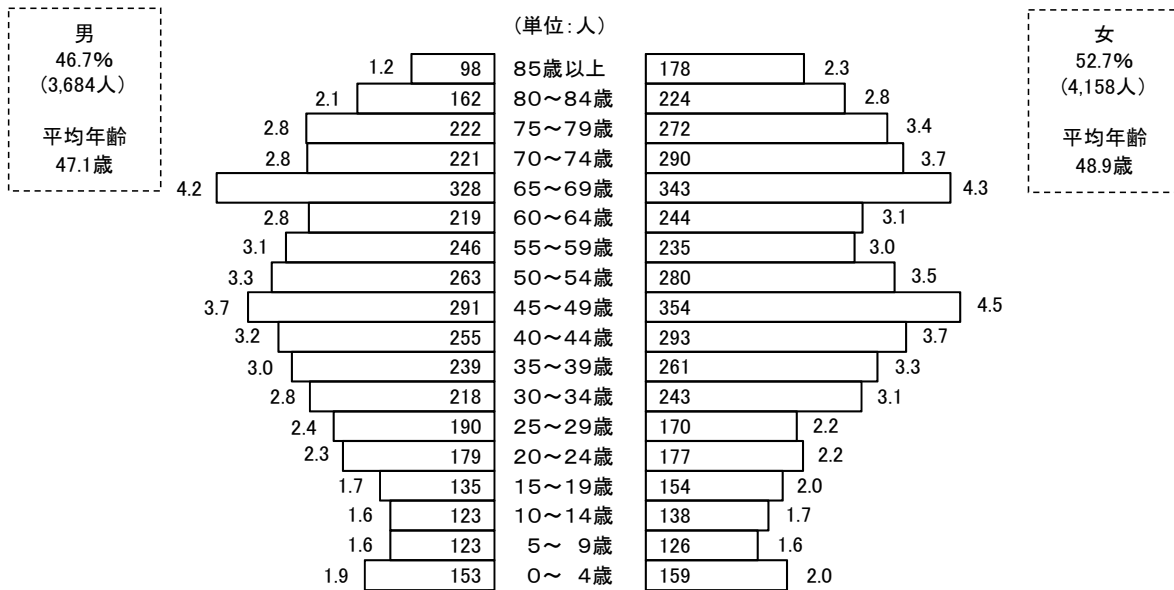
第1章 集計対象者の性・年齢階級及び地域

本章では、集計対象者の基本的属性について述べる。

1 集計対象者の性・年齢階級

集計対象者の7,895人の世帯員の性別をみると、男性46.7%、女性52.7%、平均年齢は男性47.1歳、女性48.9歳となっている。(図I-1-1)

図I-1-1 性・年齢階級



注) 男性46.7%、女性52.7%で合計が100%にならないのは、性別無回答の人がいるためである。
男性3,684人、女性4,158人には、それぞれ年齢無回答の人を含むため、内訳の合計と一致しない。

《参考》東京都人口(推計)総務局(平成28年1月1日)を基に作成。



注) 男性6,621,602人、女性6,793,747人には、それぞれ年齢無回答の人を含むため、内訳の合計と一致しない。

2 地域

居住地域は、区部が 69.2%、市町村部が 30.8%である。区部では「区西北部」の割合が 13.7%で最も高く、市町村部では「南多摩」の割合が 11.2%で最も高くなっている。(表 I-1-1)

表 I-1-1 地域

		単位(世帯)															
	総数	区部								市・町・村部	西多摩	南多摩	北多摩西部	北多摩南部	北多摩北部	島しょ	
		区中央部	区南部	区西南部	区西部	区西北部	区東北部	区東部									
総数	100.0 (3,466)	69.2 (2,399)	6.9 (239)	7.8 (269)	10.6 (367)	8.7 (300)	13.7 (475)	10.8 (376)	10.8 (373)	30.8 (1,067)	3.4 (118)	11.2 (388)	3.4 (119)	7.0 (243)	5.7 (199)	- (0)	
該当地区			千代田区、中央区、港区、文京区、台東区	品川区、大田区	目黒区、世田谷区、渋谷区	新宿区、中野区、杉並区	豊島区、北区、板橋区、練馬区	荒川区、足立区、葛飾区	墨田区、江東区、江戸川区		檜原村、奥多摩町	青梅市、福生市、羽村市、あきる野市、瑞穂町、日の出町、	八王子市、町田市、日野市、多摩市、稲城市	立川市、昭島市、国分寺市、国立市、東大和市、武蔵村山市	武蔵野市、三鷹市、府中市、調布市、小金井市、狛江市	小平市、東村山市、清瀬市、東久留米市、西東京市	大島町、利島村、新島村、神津島村、三宅村、御蔵島村、八丈町、青ヶ島村、小笠原村

第2章 世帯の状況

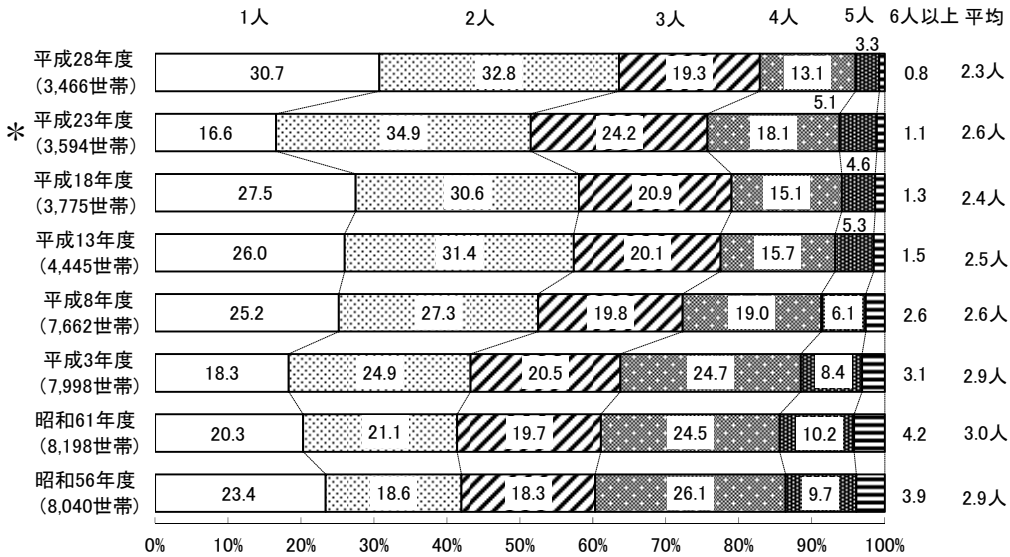
本章では、集計対象者 3,466 世帯の状況について述べる。

1 世帯人員・世帯構成

(1) 世帯人員一過去調査との比較

集計対象者の平均人員は、2.3 人となっている。世帯人員は、「2 人」の割合が 32.8%で最も高く、次いで「1 人」が 30.7%となっている。(図 I-2-1)

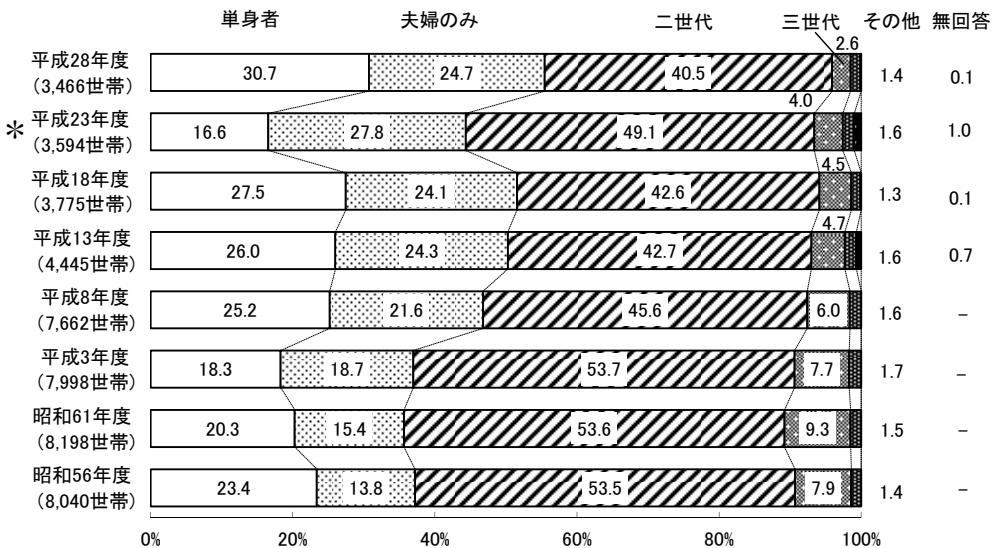
図 I-2-1 世帯人員一過去調査との比較



(2) 世帯構成 (世代別)一過去調査との比較

世帯構成 (世代別) をみると、「二世帯」の割合が 40.5%で最も高く、次いで「単身者」が 30.7%、「夫婦のみ」が 24.7%となっている。(図 I-2-2)

図 I-2-2 世帯構成 (世代別)一過去調査との比較



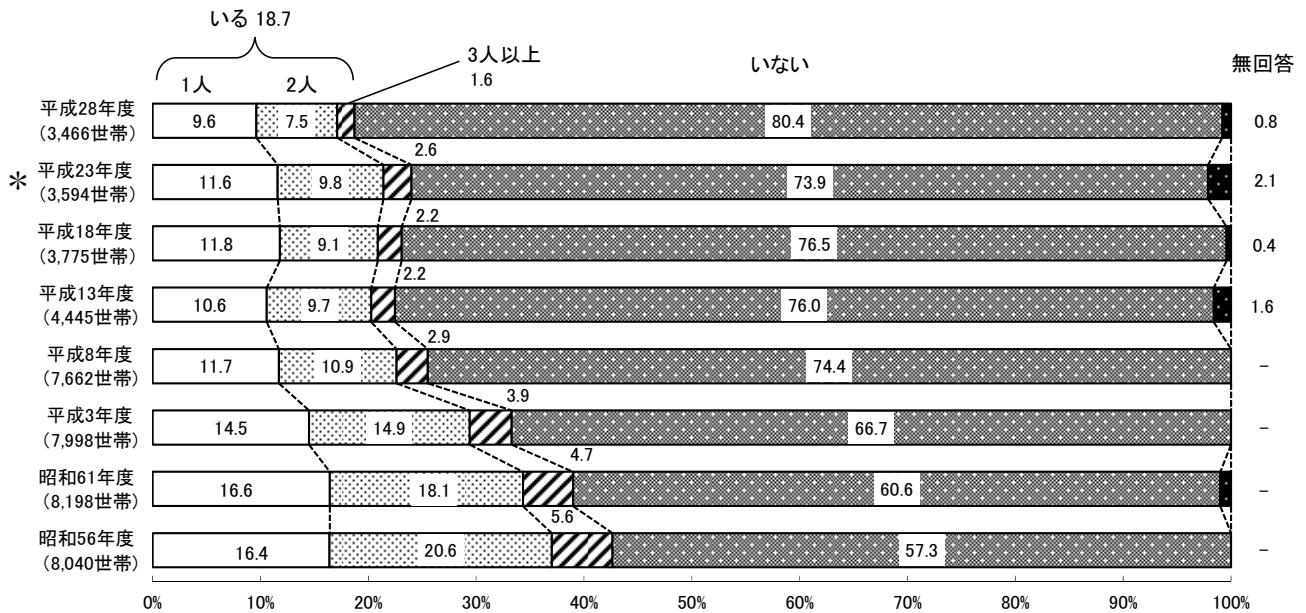
2 子供のいる世帯

(1) 18歳未満の子供の有無—過去調査との比較

18歳未満の子供が「いる」世帯の割合は18.7%で、調査を開始した昭和56年度と比べて、2分の1以下になっている。

人数は、「1人」の割合が9.6%で最も高く、次いで「2人」が7.5%、「3人以上」が1.6%となっており、平成8年度調査以降、この傾向は変わらない。(図I-2-3)

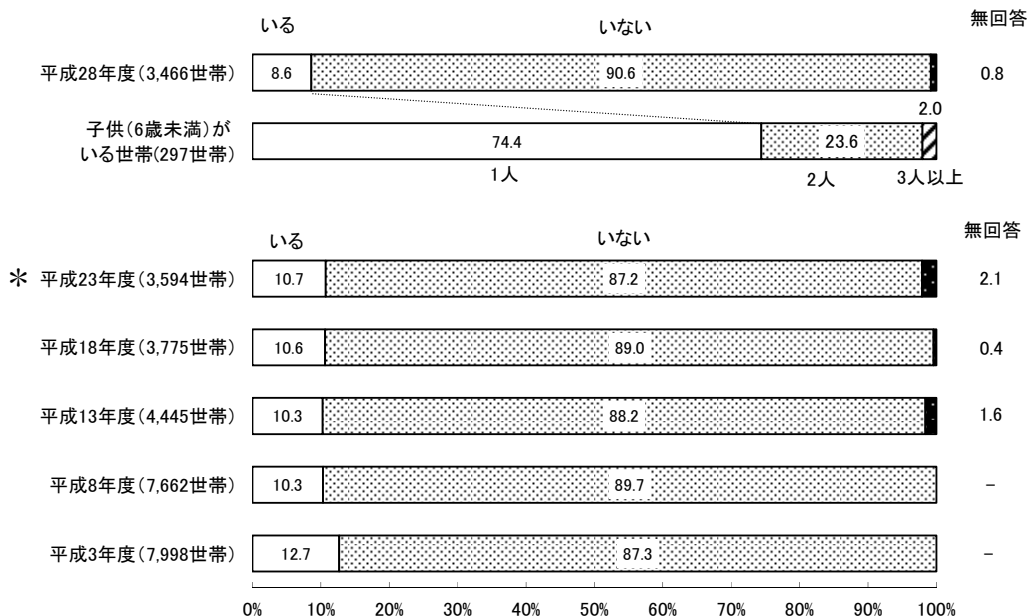
図I-2-3 18歳未満の子供の有無—過去調査との比較



(2) 6歳未満の子供の有無—過去調査との比較

6歳未満の子供が「いる」世帯は、8.6%となっている。人数は、「1人」の世帯の割合が74.4%となっている。(図I-2-4)

図I-2-4 6歳未満の子供の有無—過去調査との比較



3 高齢者のいる世帯

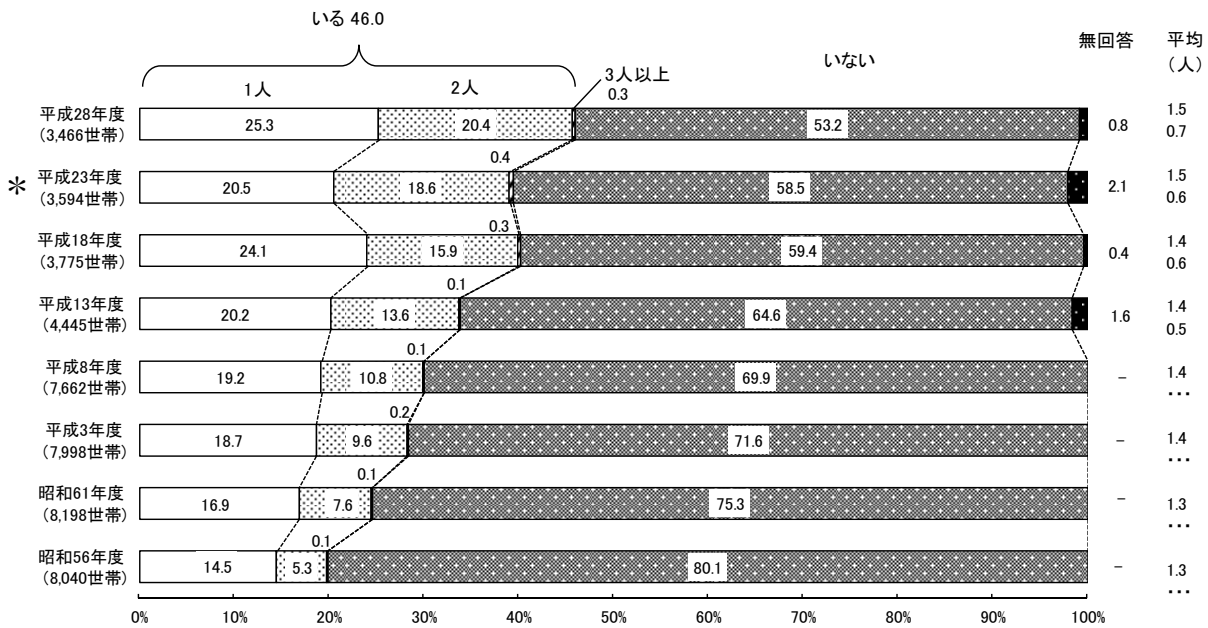
(1) 65歳以上の高齢者の有無一過去調査との比較、世帯類型別

65歳以上の高齢者がいる世帯の割合は、35年前の2倍超に増加

65歳以上の高齢者が「いる」世帯の割合は46.0%で、昭和56年度と比べて、2倍以上となっている。(図I-2-5)

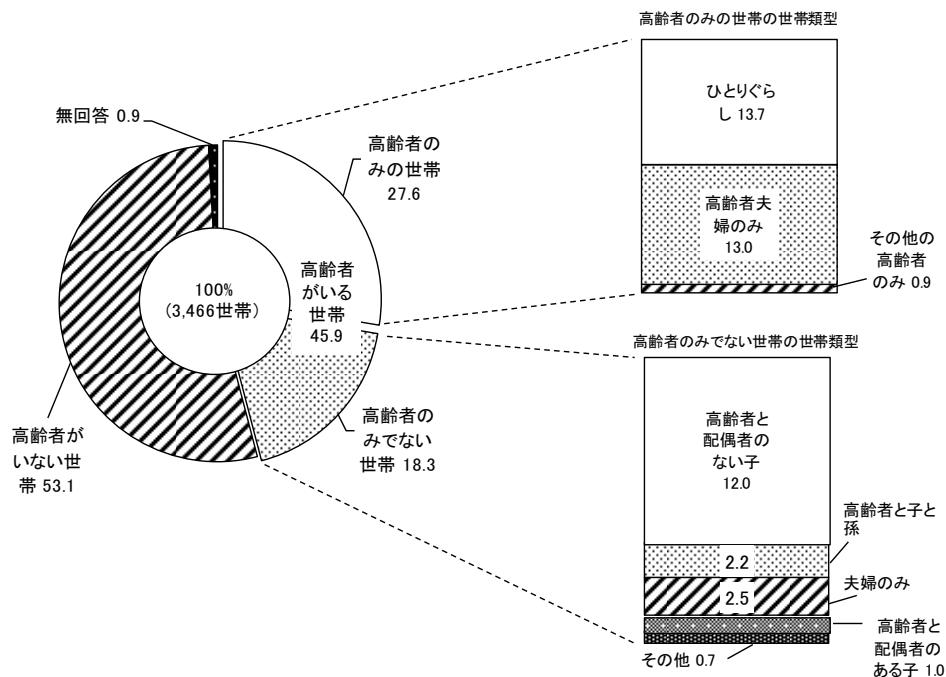
世帯類型別にみると、「高齢者のみの世帯」は27.6%、「高齢者のみでない世帯」は18.3%となっている。「高齢者のみの世帯」のうち、「ひとり暮らし」の世帯は13.7%となっている。(図I-2-6)

図I-2-5 65歳以上の高齢者の有無一過去調査との比較



注) 平均 (人) は、上段が高齢者がいる世帯、下段が全世帯中のそれぞれの平均人数である。

図I-2-6 65歳以上の高齢者の有無一世帯類型別

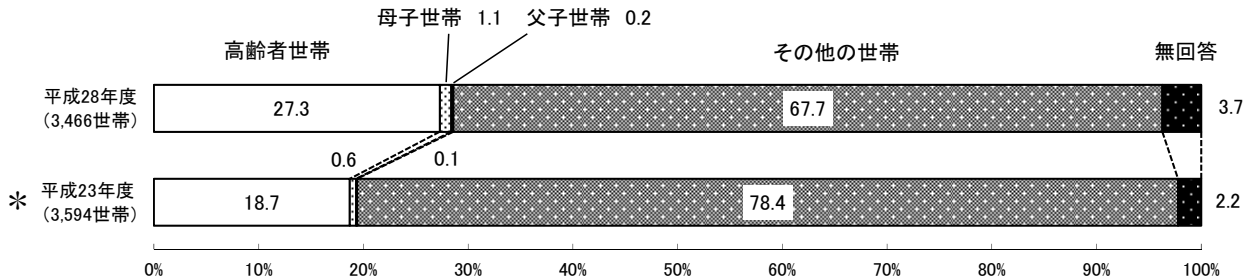


4 高齢者・母子・父子世帯

(1) 高齢者・母子・父子世帯—平成23年度調査との比較

高齢者・母子・父子世帯の状況をみると、高齢者世帯は27.3%、母子世帯は1.1%、父子世帯は0.2%となっている。(図I-2-7)

図I-2-7 高齢者・母子・父子世帯—平成23年度調査との比較



5 単独世帯

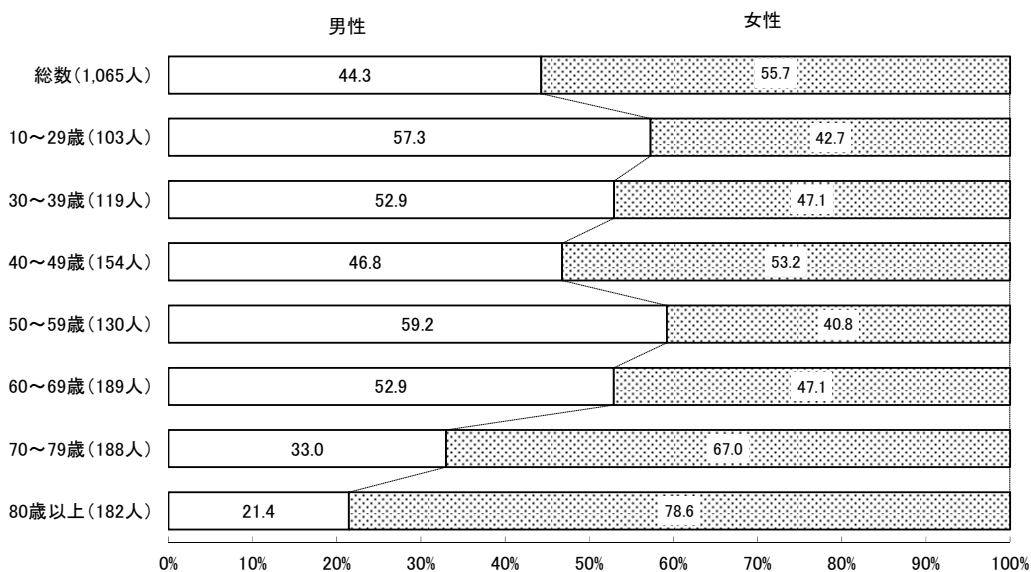
(1) 単独世帯—性・年齢階級別

女性の単独世帯の割合は、70代では男性の約2倍、80歳以上は男性の3倍超

集計対象者3,466世帯のうち、単独世帯1,065世帯(人)の状況を性別でみると、男性は44.3%、女性は55.7%となっている。

性・年齢階級別にみると、70代では、男性の割合が33.0%、女性の割合が67.0%で、女性は男性の約2倍となっている。また、80歳以上では、男性の割合が21.4%、女性の割合が78.6%で、女性が男性の3倍を超えている。(図I-2-8)

図I-2-8 単独世帯—性・年齢階級別



注) 10~19歳は、2人のため、10~29歳に含めている。

6 手帳取得者のいる世帯

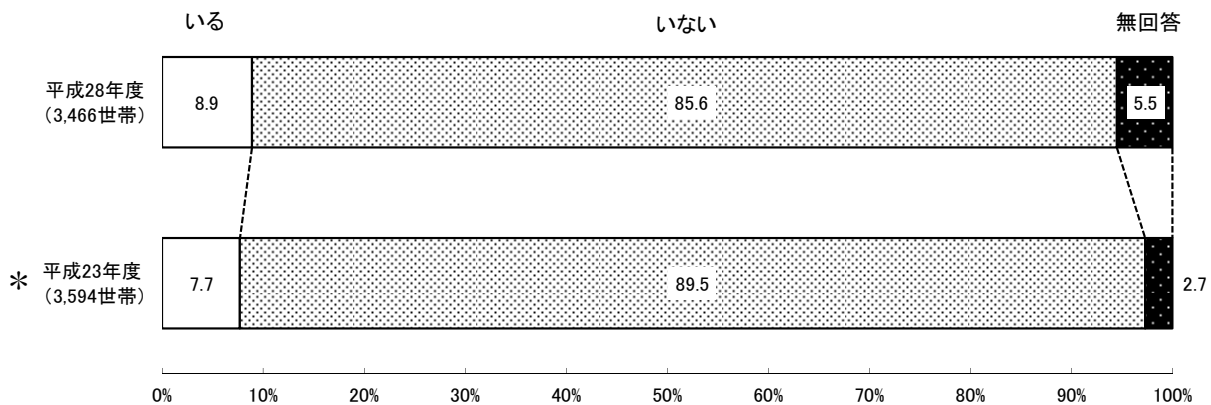
(1) 手帳取得者の有無（身体障害者手帳、愛の手帳、精神障害者保健福祉手帳）

－平成 23 年度調査との比較

身体障害者手帳、知的障害者「愛の手帳」及び精神障害者保健福祉手帳を取得している人が「いる」世帯は、8.9%となっている。（図 I-2-9）

図 I-2-9 手帳取得者の有無（身体障害者手帳、愛の手帳、精神障害者保健福祉手帳）

－平成 23 年度調査との比較



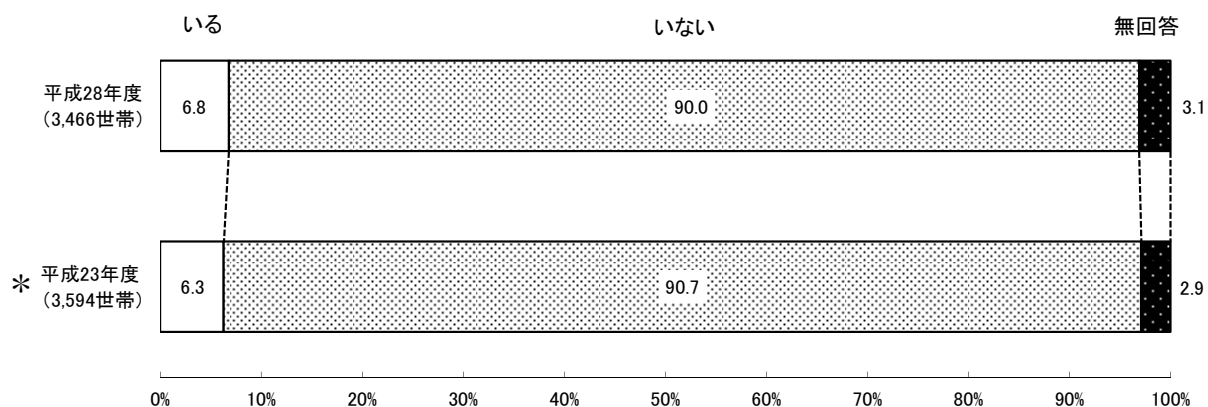
注) 手帳取得者には、「申請中」を含めている。

7 要介護・要支援認定を受けている人のいる世帯

(1) 要介護・要支援認定を受けている人の有無－平成 23 年度調査との比較

要介護・要支援認定を受けている人が「いる」世帯は、6.8%となっている。（図 I-2-10）

図 I-2-10 要介護・要支援認定を受けている人の有無－平成 23 年度調査との比較

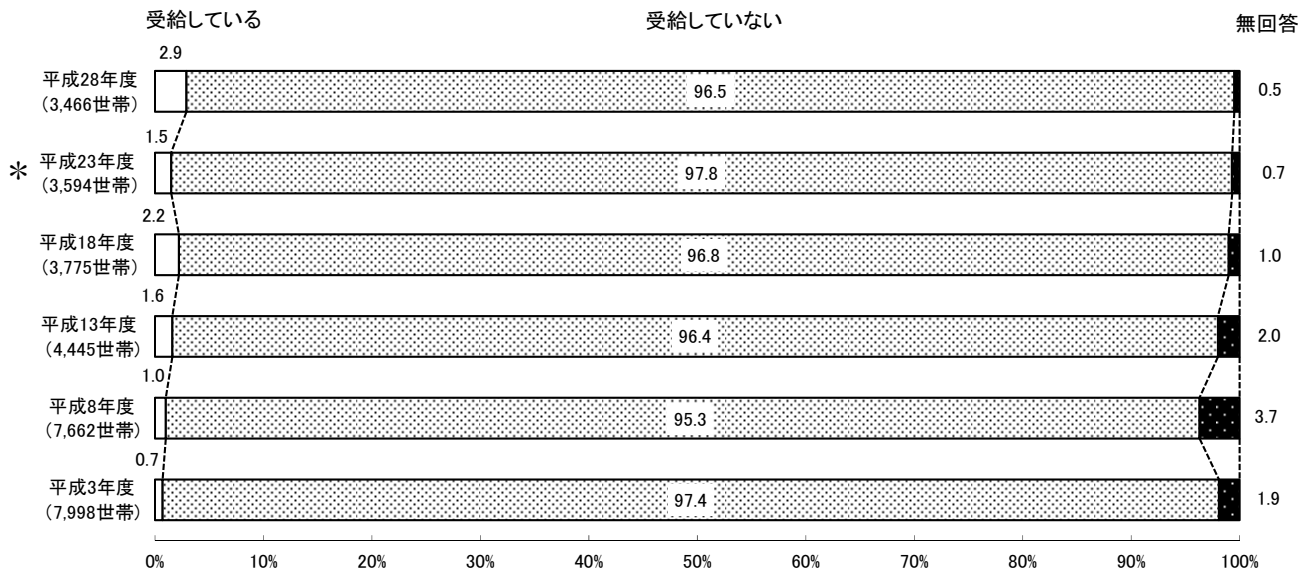


8 生活保護受給世帯

(1) 生活保護受給の有無－過去調査との比較

生活保護を「受給している」世帯は、2.9%となっている。(図 I-2-11)

図 I-2-11 生活保護受給の有無－過去調査との比較



9 年金・恩給を受給している世帯

(1) 年金・恩給受給の有無―世帯類型（65歳以上の高齢者がいる世帯）別

「年金・恩給を受給している」世帯は40.8%、「年金・恩給を受給していない」世帯は58.7%となっている。

65歳以上の高齢者がいる世帯を世帯類型別にみると、「年金・恩給を受給している」世帯の割合は、高齢者のみの世帯が86.1%、高齢者がいる世帯が75.9%となっており、高齢者のみの世帯の方が10.2ポイント高くなっている。（表I-2-1）

表I-2-1 年金・恩給受給の有無―世帯類型（65歳以上の高齢者がいる世帯）別

		総数	年金・恩給を受給している世帯	年金・恩給を受給していない世帯	無回答
総数		100.0 (3,466)	40.8	58.7	0.5
世帯類型（65歳以上の高齢者がいる世帯）別	高齢者のみの世帯	100.0 (957)	86.1	13.5	0.4
	ひとりぐらし	100.0 (474)	83.3	16.2	0.4
	高齢者夫婦のみの世帯	100.0 (452)	88.5	11.1	0.4
	その他の高齢者のみの世帯	100.0 (31)	93.5	6.5	-
	高齢者がいる世帯	100.0 (635)	75.9	23.9	0.2
	夫婦のみの世帯	100.0 (86)	67.4	32.6	-
	高齢者と配偶者のいない子の世帯	100.0 (415)	81.2	18.6	0.2
	高齢者と配偶者のある子の世帯	100.0 (35)	80.0	20.0	-
	高齢者と配偶者のいない子と孫の世帯	100.0 (23)	73.9	26.1	-
	高齢者と配偶者のある子と孫のいる世帯	100.0 (53)	50.9	49.1	-
	高齢者がいるその他の世帯	100.0 (23)	65.2	34.8	-
	高齢者がいない世帯	100.0 (1,842)	25.0	93.9	0.7

